

自由な発想と創造力に期待

矢野建一 新学長に聞く

日高義博第15代学長からバトンを継ぎ、9月に就任した矢野建一新学長＝文学部教授＝に、どのようなカジ取りを考えておられるのか、めざす教育の今後について伺った。



ニッポンス専修

「専修大学」ホームページ
http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
(定価一部90円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425 東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- ①「新学部長に聞く」白藤博行法学部長／佐々木重人商学部長／江原淳ネットワーク情報学部長……
- ②全国で育友会支部懇談会／参加者の声……
- ③優勝は横浜市保土ヶ谷区代表・坂本少年野球部
- ④2013「専修大学カップ」神奈川県学童軟式野球選手権大会開催……
- ⑤「石巻専修大学」国際交流協定校の中国・温州大学生が日本文化学ぶ……
- ⑥



DVD絶賛販売中(購買会他)

転換・導入・教養・専門 新たな学士課程教育へ

「専修大学は持てる力を出し切っていない。より存在感を高めるよう努力したい」と7月の校友会定時総会で話されました。

教員の研究レベルの高さ、全国に広がる卒業生の存在、ご父母・保護者との緊密な連携、この三つは本学の大きな力です。

さらに、専修大学の応援となつていらっしゃるご父母・保護者のみなさんは、貴重な存在です。本学の発展と学生育成のために、ご父母・保護者の観点から教育事業のさまざまな

1880年に創立された専修大学は、今年、創立134年を迎えました。卒業生は創立80周年に当たる1960年の時点では3万4000人ほどでしたが、現在は27万人を超えました。財界をはじめ、あらゆる分野で活躍しています。特に地方で存在感を發揮して活動している人が多いのが特徴であり、心強いものです。

「力」の連携を強め、発信力を強化することが重要です。産官との連携による地域貢献などを地道に展開する一方、本学ならではの「知の発信」をもっと積極的に推進した

「特色をどう打ち出していくらうでしょう。こういった「力」が社会に周知されていないのが残念です。この三つの「力」の連携を強め、発信力を強化することが重要です。産官との連携による地域貢献などを地道に展開する一方、本学ならではの「知の発信」をもっと積極的に推進した

「専修大学は、今年、創立134年を迎えました。卒業生は創立80周年に当たる1960年の時点では3万4000人ほどでしたが、現在は27万人を超えました。財界をはじめ、あらゆる分野で活躍しています。特に地方で存在感を發揮して活動している人が多いのが特徴であり、心強いものです。」

「現代の学生たちに最も必要なものは、社会現象に対する自由で何事にもとらわれない研究を基礎とし、いかなる権威や権力の呪縛に対してもあつらひの精神で対峙することです。専修大学は、その精神で対峙することです。」

「社会知性を備えた人物とは「専門的な知識技術とそれに基づいて思考方法を核としながら深い人間理解と倫理観を持ち、地球的な視野から独自の発想により、主体的に社会の諸課題の解決に取り組んでいる能力を有する人物」

歴史を鏡に

〔横顔〕故郷(長野県伊那市)に帰り、社会科教師となることを夢見て上京。1966年開設の専修大学文学部の3期生。人文学科歴史学コースで学んだ。ゼミ指導の故松本新八郎教授から「徹底的に鍛えられました」。テキストクリティークの精神、モットーである「歴史を『鏡』にする」(正しく向き合って自身の見識を磨く。自分の外に鏡を置いて多面的に映すことを心がける)姿勢は、

この時代に培われた。専門は日本の古代史、文化史。宗教が日本の政治、経済、文化に与えた影響を探る。話題を呼んだ遣唐使「井真成」の墓誌発見(中国西安市・2004年)の際は、国際交流協定校の西北大学との共同研究プロジェクトで日本側代表を務め、墓誌をめぐる謎に迫った。家族は妻と一女。趣味はミステリー小説の読書。謎解きに興味を持つ。

〔略歴〕1949年長野県伊那市生まれ。72年専修大学文学部卒業。80年立教大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。専修大学文学部教授。92年専修大学文学部助教授。98年教授。文学部長(2006～10年)などを歴任。専攻は日本古代史、日本文化史。最近の著作▽共著『遣唐使の見た中国と日本』(05年、朝日新聞社)▽共編著『長安都市文化と日本・朝鮮』(06年、汲古書院)▽共編著『長安都市文化と日本・朝鮮』(06年、三秦出版、水前記を日中同時に刊行、中国語版)▽共著『地域のなかの古代史』(野田領志編、08年、岩田書院)など。

育友会支部懇談会 全国67支部で開催



▲ 真剣なまなざしで臨むご父母・保護者の皆さん(神田キャンパス)＝3面に記事

高校生のための経営学実践講座



▲ 高校生がハンバーガーの売り方を考える経営学部公開講座でグループワークをする参加者＝5面に記事

豪雨及び暴風雨により被災された皆様へ
6月8日以降に発生した豪雨および暴風雨により被災された学生および保護者の皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。本学では自然災害による被災世帯学生に対し経済的支援を講じています。また、日本学生支援機構奨学金(緊急・応急)の申請も受け付けます。該当する方は左記まで連絡をお願いいたします。
▽一部(生田) 学生生活課▽一部(神田) 学生生活課▽二部学生生活課▽二部事務課▽大学院生(生田) 生田大学院事務課▽大学院生(神田) 神田大学院事務課▽法科大学院生 法科大学院事務課 (学生生活課)